慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	巻頭言（退職にあたって）
Sub Title	
Author	伊東, 裕司(Itō, Yūji)
Publisher	三田哲學會
Publication year	2020
Jtitle	哲學 (Philosophy). No.144 (2020. 3) ,p.1- 2
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	特集：伊東裕司教授 退職記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000144-0001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

巻頭言（退職にあたって）

伊　東　裕　司*

私の定年退職にあたって，「哲学」の退職記念号を作ってくださるという．多くの後輩，学生の方々にご執筆いただいているということだが，非常にありがたい，身に余ることである．慶應に職を得てから，もう40年近くが過ぎている．その間いろいろなことがあったが，なんとか教員として，また研究者として続けてこられたのは，多くの先輩や同僚，そして本号にご執筆いただいている方々をはじめとする若い人たちのおかげであると感謝している．

もともと怠け者で，退職にあたって後悔はありません，やり切りました，とはなかなか言えないのであるが，中でもいろいろな局面で，もっと戦略的に研究の方針や研究室，ゼミの運営を考えて来られなかったことに関しては，忸怩たる思いがある．研究生活の後半では，司法における基礎心理学の貢献を目指して活動を行ってきて，慶應の心理学専攻にこの領域の研究を根付かせたいとも思っていたのであるが，これができなかったのは心残りである．とはいえ，本号の論文にも現れているかと思うが，私のやりたいことに興味を持っていただけた優秀な若手研究者と研究ができたこと，また多少は私のしていることや考えていることが自身の研究を作っていく上で役に立った，参考になったと感じてもらえる方がいらしたなら，とても嬉しいことである．そしてそのような方々が，さまざまな方向

* 慶應義塾大学教授

に研究を展開し，成果をあげていることを大変頼もしく感じている．

昨今の学問，研究を取り巻く環境は，非常に厳しいものがあり，特にしっかりとした基礎研究を行なっていくことが難しい時代になっている．私自身は大学を離れ，研究も今までのようにはできなくなるであろうが，まだ心理学の研究から完全に離れてしまうつもりはない．これからも若い仲間たちと，基礎の心理学を盛り立て，世の中に生かす仕事を続けていきたいと考えている．本号に掲載の論文の中に，そのような動きを読み取っていただけたなら，大きな喜びである．

2019 年 12 月